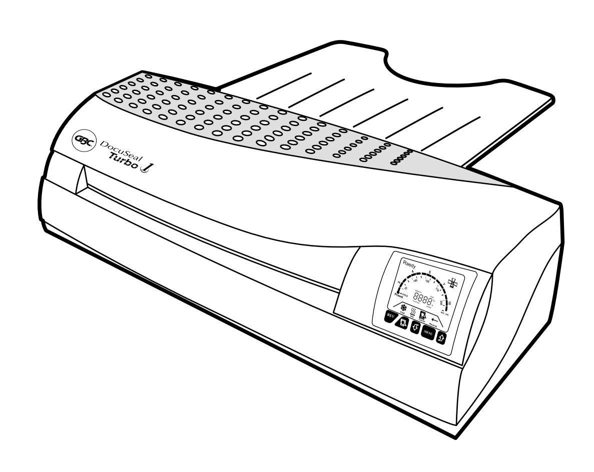



# 取扱説明書

## パウチラミネーター

## DocuSeal Turbo 1

**品番：GLMT1**






日本ジー・ビー・シー株式会社
www.gbc-japan.co.jp
A Subsidiary Of ACCO Brands Corporation



〒164-0012　東京都中野区本町1-32-2　ハーモニータワー
TEL. 03(5351)1801　http://www.gbc-japan.co.jp

## はじめに

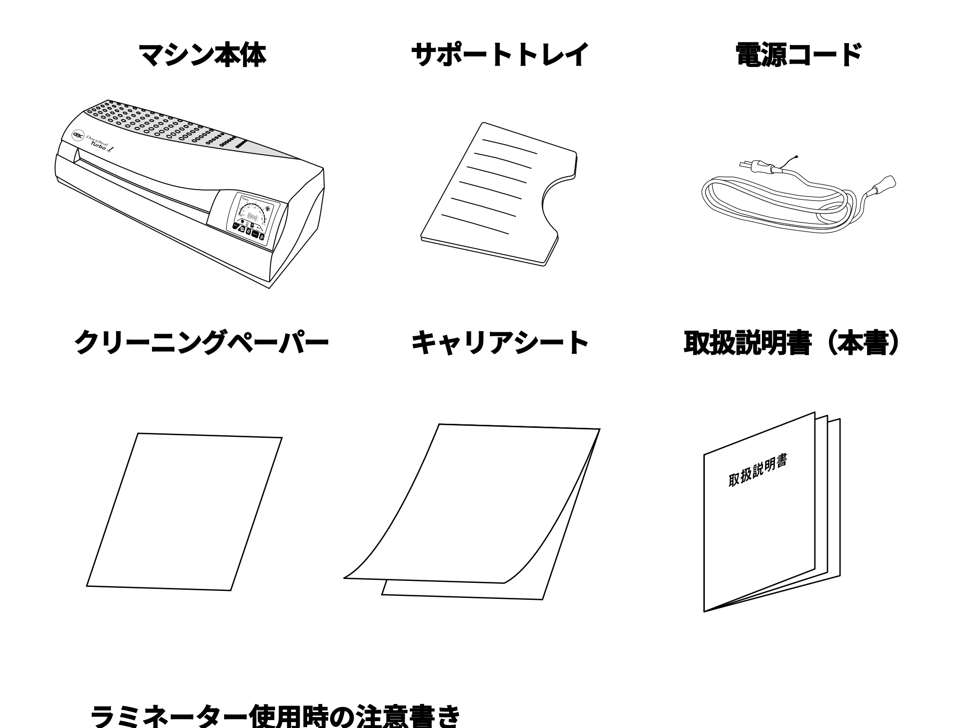
このたびはGBCパウチラミネーターをお買求めいただき、
ありがとうございました。

ご使用になる前に、必ず取扱説明書をよくお読みいただき,
末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。
本取扱説明書は必ず保管してください。

## 目　次

# 1・内容物の確認

下記のとおり、本体及び付属品が同梱されていることを確認してください。




ラミネーター使用時の注意書き

※お手元に置いてご使用になることをお勧めします。

# 2・ご使用上の注意

## 絵表示について

**この取扱説明書および製品への表示では、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろ絵表示しています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。**

 **警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

**安全にご利用いただくために、下記の注意事項を必ずお守りください。**

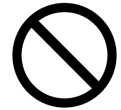




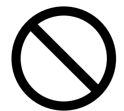

**マシンの上面およびラミネート直後の加工物は高温になっていますので、注意してください。**
**※高温のため、やけどをする恐れがあります。**



**ネクタイ・ネックレス・髪などを引き込まれないようにしてください。**
**※けがをする原因になることがあります。**
**万一引き込まれたときは電源スイッチをオフにして取り除いてください。**



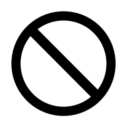
**濡れた手で電源プラグを扱わないでください。**
**※感電の恐れがあります。**



**電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。また、コードの上に重いものをのせたりしないでください。**
**※火災、感電の恐れがあります。**

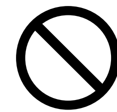


**ご自分で分解、改造、修理をしないでください。**
**※感電や思わぬけがをする恐れがあります。**

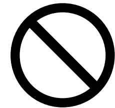


**万一、煙が出たり、変な臭いがするなど、異常な状態になりましたら、使用を中止して、電源プラグを抜いてください。**
**※火災、感電の恐れがあります。**

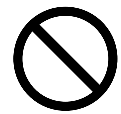
# ⚠ 注意



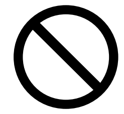
本機は紙専用のラミネーターです。他の目的に使用しないでください。



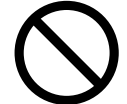
絶対に可燃物（セロハン等）、軟化しやすい物（塩ビ、ポリエチレン）は入れないでください。
※火災の恐れがあります。



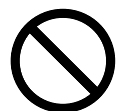
ラミネーター操作中はそばを離れないでください。
また、加工を終了した場合は電源スイッチを必ずオフにしてください。



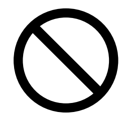
絶対に本体の上に物を置かないでください。
※本体上面は高温になります。



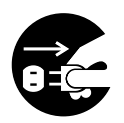
本機は必ず平らな所へ設置し、フィルム取出口側からラミネートしたものを取り出せるスペースを取ってください。



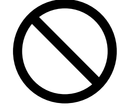
冷暖房のそば、高温多湿な場所、埃の多い場所で使用しないでください。
※火災、感電の恐れがあります。



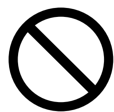
本機に水などをかけないでください。
※火災、感電の恐れがあります。



電源プラグを抜く時は必ずプラグ部を持って抜いてください。
※火災、感電の恐れがあります。

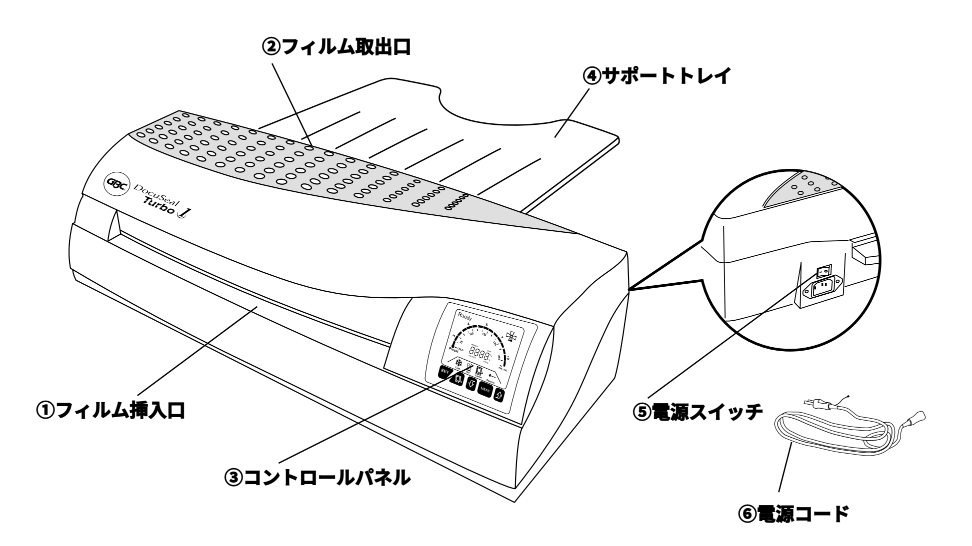


必ずコンセントの近くで本機を利用し、電源プラグが容易に着脱できるように、コンセントの近くにものをおかないでください。



電源は必ずAC100V 電源をご使用ください。タコ足配線はしないでください。
※火災、感電の恐れがあります。

# 3・各部の名称と働き




**①フィルム挿入口**
パウチフィルムにラミネートするものをはさみこんで、必ずパウチフィルムのシール部(接合部)側から挿入します。

**②フィルム取出口**
ラミネートされたものがここから排出されます。排出されたフィルムを取り出してください。

**③コントロールパネル**
各操作・設定はこのパネルで行います。(次項「コントロールパネル」を参照)

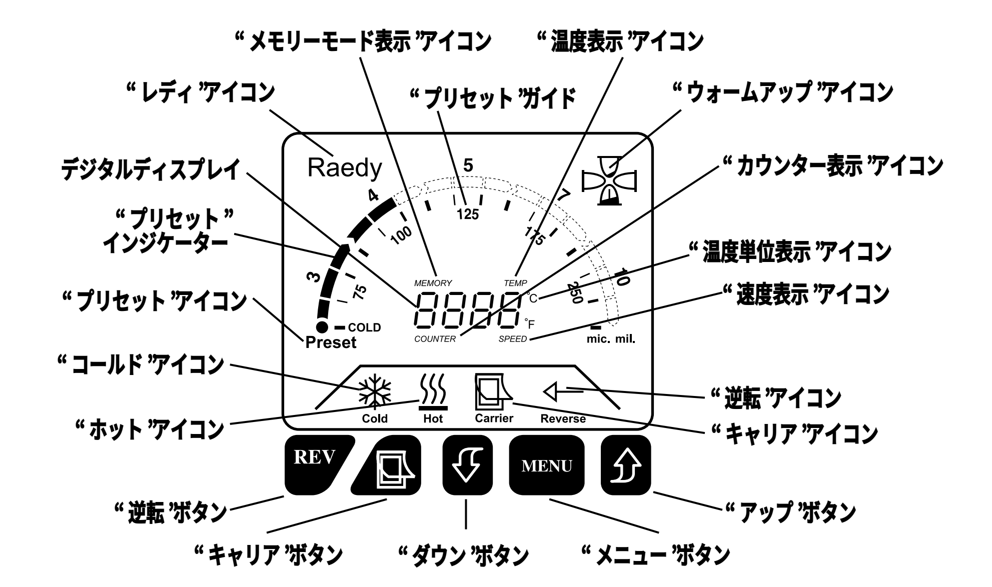
**④サポートトレイ**
フィルム取出口に出てくるラミネートされたものを支えるトレイです。使用時はサポートトレイをセットしてください。

**⑤電源スイッチ**
このボタンを押して、電源をオン／オフにします。使用しない場合は、必ずオフにしてください。

**⑥電源コード**
マシン本体背面にあるコネクターに接続し、電源プラグを必ずAC100V のコンセントへ差し込んでください。

※本機には必ず付属の電源コードを使用してください。
同等品を使用する際は必ず許容電流値が同等以上の電源コードをご使用ください。

# コントロールパネル




## アイコン・インジケーター

### “ レディ ”アイコン(Ready)

ラミネート可能な温度に達しますと、“ レディ ”アイコンが点灯し、ラミネート可能なことを表します。

### “ プリセット ”アイコン(Preset)

“ プリセット ”モードによる設定をしている時、“ プリセット ”アイコンが点灯します。

### “ コールド ”アイコン(Cold)

コールドラミネートを設定している時(ホットラミネート未設定時)、“ コールド ”アイコンが点灯します。

### “ ホット ”アイコン(Hot)

ホットラミネートを設定している時、“ ホット ”アイコンが点灯します。

### “ キャリア ”アイコン(carrier)

キャリアシートを使用してラミネートする設定をしている時、“ キャリア ”アイコンが点灯します。(変形物や小判フィルムのラミネート時に使用)

### “ 逆転 ”アイコン(Reverse)

“ 逆転 ”ボタン(REV)を押すと、ローラーが逆転しで“ 逆転 ”アイコンが点灯します。

### “ ウォームアップ ”アイコン

ホットラミネート時にラミネート可能な温度に達するまで、“ ウォームアップ ”アイコンが回転し、ウォームアップ中であることを表します。

**プリセットガイド**

"プリセット"モードを設定する時に、本体に表記された「ラミネート設定ガイド表」の値を参考に"アップ"ボタン・"ダウン"ボタンでラミネート温度と速度を簡単に設定できます。

**デジタルディスプレイ**

「ラミネート速度」「ラミネート温度」「メモリー設定」「ラミネートカウンター」がデジタル表示されます。

**"メモリーモード表示"アイコン（MEMORY）**

ディスプレイに「MEMORY」が点灯している時は、保存されているメモリーモード「SEL 1」がデジタル表示されます。また、"アップ"ボタン・"ダウン"ボタンの操作で「SEL 2」「SEL 3」「SEL 4」「SEL 5」を表示することができます。
（後述「メモリーモードの保存」「メモリーモードの選択」を参照）

**"温度表示"アイコン（TEMP）**

"コールド"アイコンが表示されておらず、ディスプレイに「TEMP」が点灯している時は、現在設定されている設定温度がデジタル表示されます。
また、"アップ"ボタン・"ダウン"ボタンの操作で設定温度を変更することができます。（後述「設定温度の変更」を参照）

**"温度単位表示"アイコン**

"アップ"ボタン・"ダウン"ボタンを同時に押すと、摂氏（℃）と華氏（°F）の表示を切り換えることができます。

**"速度表示"アイコン（SPEED）**

"コールド"アイコンが表示されておらず、ディスプレイに「SPEED」が点灯している時は、現在設定されている設定速度「SP 00」がデジタル表示されます。
また、"アップ"ボタン・"ダウン"ボタンの操作で設定速度を変更することができます。（後述「設定速度の変更」を参照）

**"カウンター表示"アイコン（COUNTER）**

ディスプレイに「COUNTER」が点灯している時は、現在までにラミネートされたカウンター数量「0000」がデジタル表示されます。（後述「カウンターのリセット」を参照）

## ボタン

**"メニュー"ボタン MENU**

各設定をする時、"メニュー"ボタンを押してディスプレイに表示される設定項目を切り替えます。「Preset+COUNTER」→「MEMORY」→「TEMP」→「SPEED」→「COUNTER」の順に切り替えられます。

**"アップ"ボタン**

各設定をする時、設定値を上げるために使用します。

**"ダウン"ボタン**

各設定をする時、設定値を下げるために使用します。

**"逆転"ボタン REV**

"逆転"ボタンを押している間は、"逆転"アイコンが点灯し、ローラーが逆転し続けます。
"逆転"ボタンを離すとローラーは正転に戻ります。

**"キャリア"ボタン**

変形の加工物とフィルムとの余白が大きい時や小判フィルムのラミネート時には、付属のキャリアシートを使用します。この場合は、"キャリア"ボタンを押してください。"キャリア"アイコンが点灯します。

## 設定温度の変更

①“プリセット”アイコンが表示時に“アップ”ボタン(⇧)を押しで“ホット”アイコンを表示させてください。次に“メニュー”ボタン(MENU)を押しで“温度表示”アイコン(TEMP)点灯させ、ディスプレイに温度を表示させてください。
“アップ”ボタン(⇧)を押すと、5℃単位で設定温度を上げることができ、“ダウン”ボタン(⇩)を押すと、5℃単位で設定温度を上げることができます。
（最高で170℃：キャリアモード／145℃：プリセットモード＆ホットモード）

## 設定速度の変更

①“プリセット”アイコンが表示時に“アップ”ボタン(⇧)を押しで“ホット”アイコンを表示させてください。次に“メニュー”ボタン(MENU)を押しで“速度表示”アイコン(SPEED)点灯させ、ディスプレイに速度を表示させてください。
“アップ”ボタン(⇧)を押すと、1単位で設定速度を上げることができ、“ダウン”ボタン(⇩)を押すと、1単位(最高20単位)で設定速度を上げることができます。

## メモリーモードの保存

①“メニュー”ボタン(MENU)を押しで“メモリーモード”アイコン(MEMORY)点灯させ、ディスプレイに保存するコード(例:SEL 1)を表示させてください。“アップ”ボタン(⇧)を押すと、「SEL 1」→「SEL 2」→「SEL 3」→「SEL 4」→「SEL 5」の順に表示されます。

②ディスプレイに保存するコード(例:SEL 1)表示させた状態で“ダウン”ボタン(⇩)を長めに押すと、現在の設定温度・設定速度が表示されたコード(例:SEL 1)に保存されます。
保存ができた場合はディスプレイの“メモリーモード”アイコン(MEMORY)が点滅し、ブザーが鳴り知らせます。

## メモリーモードの選択

①“メニュー”ボタン(MENU)を押しで“メモリーモード”アイコン(MEMORY)点灯させ、ディスプレイに使用するコード(例:SEL 1)を表示させてください。“アップ”ボタン(⇧)を長めに押すと、ブザーが鳴りディスプレイ上が温度表示に変わります。選択したメモリーモードのコードが決定されました。
選択したコードの設定値に達するまでウォームアップあるいはクールダウンを行います。
“レディ”アイコン(Ready)が点灯するまでお待ちください。

## カウンターのリセット

①“メニュー”ボタン(MENU)を押しで“カウンター表示”アイコン(COUNTER)点灯させ、ディスプレイに現在のカウンター数値を表示させてください。“アップ”ボタン(⇧)が“ダウン”ボタン(⇩)をどちらかを押してください。カウンターがリセットされます。

# 4・ラミネート作業上の注意

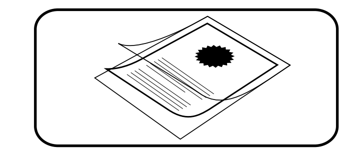
**ラミネートは熱を加えて圧着しますが、操作の手違いにより失敗したり、フィルムを巻き込んだりすることがあります。次のようなラミネートはやめてください。**

## ラミネートするもの

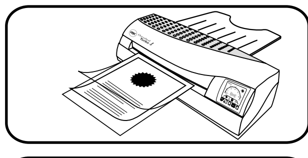
- ★ このラミネーターは紙専用です。金属・ビニール製品・布・木片等はラミネートしないでください。紙でもコーティング処理された紙や油分を含むコート紙やユポ等はラミネートしないでください。
- ★ 和紙・感熱紙・クレヨン画など熱により変色変質する紙はラミネートしないでください。
- ★ 可燃物(セロハン等)・軟化しやすい物(塩ビ、ポリエチレン等)は絶対にラミネートしないでください。
- ★ 再生することが不可能なような貴重なものをラミネートしないでください。
- ★ フィルムを含めて厚さ2.5mm以上になるものはラミネートしないでください。
- ★ インクジェットプリント用紙はテスト加工をしてから加工してください。

## ラミネートするとき

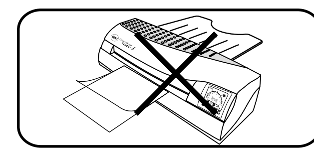
★ フィルムのシール部には余白を取らずに、ラミネートする紙は必ずフィルムのシール部(接合部)全巾に沿って押し当ててセットしてください。異形物加工の場合はシール部全巾に「捨て紙」を入れて、シール部の余白がないようにしてください。



★ 必ずフィルムはシールされた側(接合部)からラミネーターに入れてください。

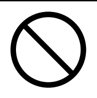


★ 写真や紙をはさまないで、フィルムだけでラミネートしないでください。



上記の3点は必ずお守りください。

## ⚠ 注意

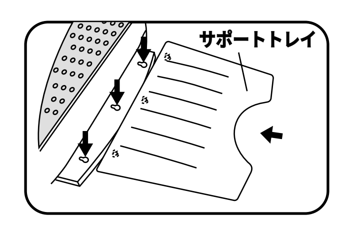


間違った使用方法でご使用になりますとフィルムが本機内部に詰まって故障の原因となります。(有償修理対象となります。)

★貴重品、複製不可能なものを加工する場合は、必ずテスト加工をして仕上がりを確認してから加工してください。

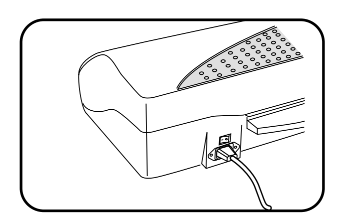
# 5・ご使用の前に

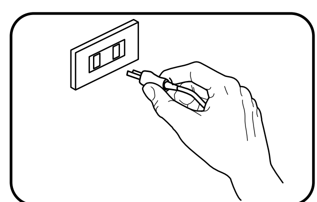
マシン背面にあるサポートトレイ固定用穴(3ヶ)に、サポートトレイ裏面のフックを入れてください。
その後、サポートトレイを水平にマシン側へ押し込んでください。




# 6・操作方法

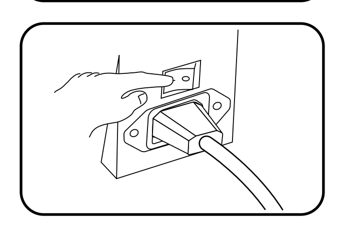
①電源コードをマシン背面のコネクターに差し込んでください。
次に、電源プラグをコンセント(100V)に差し込んでください。

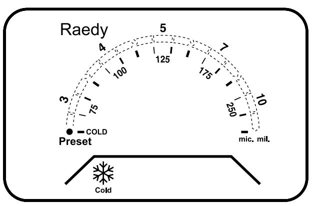




②電源スイッチをオン(Ｉ)側へ押しこんでください。

ディスプレイに“ プリセット ”アイコン(Preset)、“ コールド ”アイコン(Cold)が点灯します。





# プリセットモード

ここでは、“ プリセット ”モードでの操作手順を説明します。
“ メモリー ”モード、マニュアルモードを利用される場合は前述「メモリーの保存」、「メモリーの利用」、「温度設定の変更」、「速度設定の変更」を参照してください。

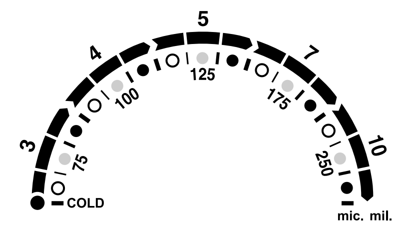
③“ プリセット ”モード（ディスプレイに「Preset」が点灯）を確認し、“ アップ ”ボタン を押して“ プリセット ”モード値(3〜10)を設定してください。
“ プリセット ”インジケーターがモード値をディスプレイ上に表します。

下表を参照に、ラミネートする用紙の種類・使用するラミネートフィルムの厚さに合わせて設定してください。
下表は目安ですから適時調整してください。




**プリセットモード設定目安表**

| 加工物 ＼ フィルム厚 | 100μm | 150μm |
|---|---|---|
| コピー用紙 | 3〜4 | 4〜5 |
| カタログ | 4〜5 | 5〜6 |
| 写真 | 5〜6 | 6〜7 |

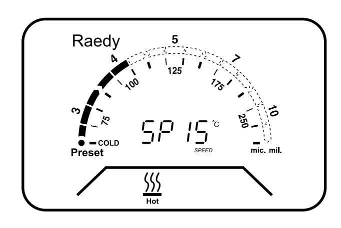



※温度が高すぎるとフィルム詰まりの原因となることもありますので、数字の低い設定でテスト加工して、適切な“ プリセット ”モード値設定を確認してください。

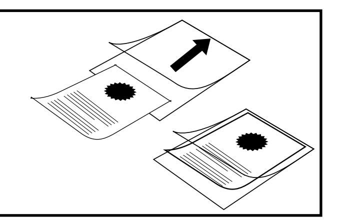
★設定モード値を下げる時は、15分以上放置してから加工してください。

④約5〜7分後に“ ウォームアップ ”アイコンが消灯し、“ レディ ”アイコン(Ready)が点灯したら、ラミネート可能です。

※設定モード値により時間は異なります。

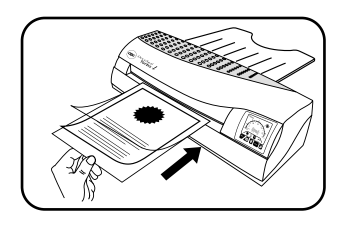


★ラミネートするものをパウチフィルムのシール部全巾（接合部）の奥まで余白のないようにきちんと入れてはさんでください。



★貴重品、複製不可能なものを加工する場合は、必ずテスト加工をして仕上がりを確認してから加工してください。

⑤シールされた側からフィルムを通し、フィルム挿入口へまっすぐに差し込んでください。

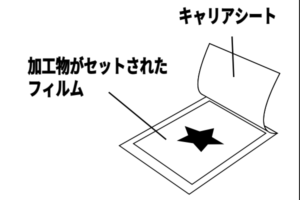


## キャリアシートの利用

★変形の加工物をラミネートする時や加工物とフィルムとの余白が大きい時、小判フィルムの使用時は、巻き込み・詰まりの防止のために付属キャリアシートを使用してください。

★“キャリア”ボタンを押しで“キャリア”モードにしてください。“キャリア”アイコンが点灯します。

★“レディ”アイコン（Ready）がいったん消えますので、再度点灯するまでお待ちください。




## ⚠ 警告



マシンの上面およびラミネート直後の加工物は高温になっていますので、注意してください。
※高温のため、やけどをする恐れがあります。

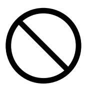


## 警告



ネクタイ・ネックレス・髪などを引き込まれないようにしてください。
※けがをする原因になることがあります。
万一引き込まれたときは電源ボタンを“オフ”にして取り除いてください。

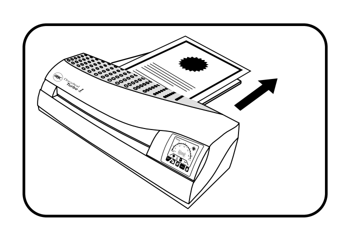
## ⚠ 注意



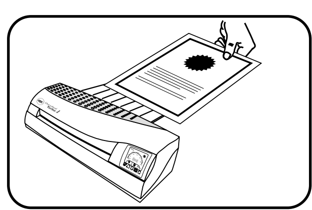
間違った使用方法でご使用になりますとフィルムが本機内部に詰まって故障の原因となります。

⑥パウチフィルムがマシン背面のフィルム取出口から出てきます。

※フィルムが出てこない場合は､直ちに“逆転”ボタン（REV）を押してください。加工物がフィルム挿入口から排出されます。（13ページ参照）



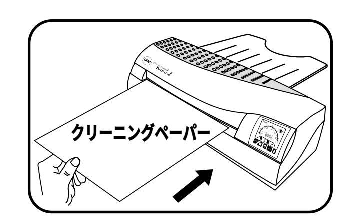
⑦ラミネートされたフィルムをマシンから取り出し、平らなところへ置いてください。約1分間冷却して完了です。



## 連続ラミネートをする場合

★連続してラミネートする時は、必ず前にラミネートしたものをフィルム取出口から取り出した後で、次のパウチフィルムをフィルム挿入口に入れてください。

⑧ラミネートが完了しましたら、ローラーを清掃するために、同梱のクリーニングペーパーをフィルム挿入口より入れてください。この作業を数回繰り返してください。



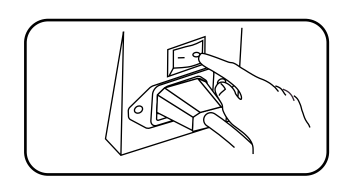

## ローラークリーニング

★ローラーが汚れていますとフィルムを巻き込む原因となりますので、加工後は必ずクリーニングを行って汚れを取り除いてください。

★クリーニングペーパーがない場合は、厚手の紙（画用紙程の厚さ､200g/m²程度の厚さの用紙）を使用してください。

★二つ折りにした紙を使用する場合は、必ず折った方から入れてください。また、コピー用紙等、薄手の用紙を使用すると巻き込む恐れがありますので、使用しないでください。

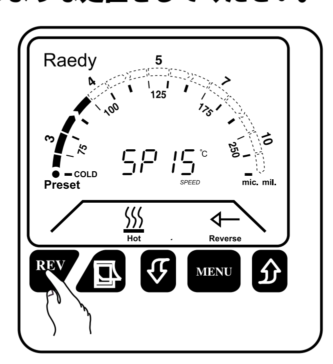
⑨必ず、電源スイッチをオフ（O）側へ押しこんでください。



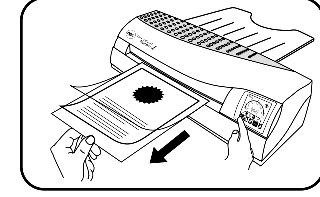
## フィルム詰まりトラブル解消方法（逆転ボタン）

ラミネート加工時に、フィルム取出口から加工されたものが出てこない場合は、全てのフィルムが機械内部に引き込まれる前に下記のような処置をしてください。

①直ちに“逆転”ボタン（REV）を押してください。

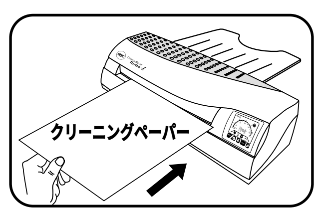



②加工物の全てがフィルム挿入口から排出されるまで“逆転”ボタン（REV）を押し続けてください。



③必ずローラーをクリーニングしてください。

前述のローラークリーニングを参照。

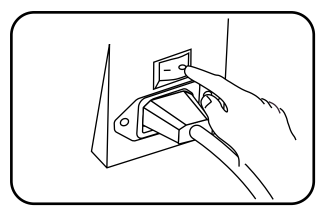



## オートシャットオフ機能

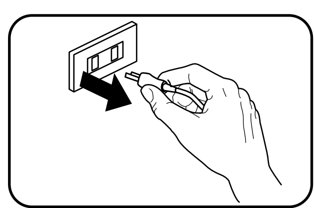
本機は電源が入った状態で1時間以上使用しませんと、安全とマシン保護のためにオートシャットオフ機能が働き、自動的に電源を落とします。
約1時間経過すると、ブザーが15秒間隔で鳴り、ディスプレイが点滅を始めます。
5分後、電源は自動的に落ちます。
使用する場合は、マシン背部の電源スイッチを一度「オフ」にした後、再度「オン」にしてください。

## 7・お手入れ方法

①必ず、電源スイッチをオフ(O)側へ押しこんでください。

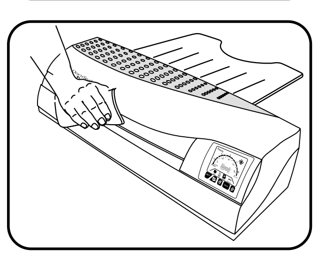


②電源プラグをコンセント(100V)から抜いてください。



③やわらかい布でから拭きをしてください。

※お手入れはマシン本体の外部だけにしてください。



★汚れがひどい時は、中性洗剤をごく少量だけ布につけて拭いてください。
※シンナー・ベンジン等化学薬品は変色・変形・傷などの原因となりますので使用しないでください。

 **警告**



ご自分で分解、改造、修理を絶対にしないでください。
※感電や思わぬけがをする恐れがあります。

# 8・こんな時は

| 現　象 | 原　因 | 対処法（参照ページ） |
|---|---|---|
| 電源が入らない | ◇電源プラグが正しくコンセントに入っていますか？<br>◇電源スイッチが“オン”に入っていませんか？ | 電源プラグを正しくコンセントに入れてください。（9ページ）<br>電源スイッチを押してください。ディスプレイが表示されていることを確認してください。（9ページ） |
| 電源が落ちた | ◇電源がオンの状態で、1時間以上使用せずにいましたか？ | オートシャットオフ機能が働いて電源を自動的に落としました。使用する場合は、マシン背部の電源スイッチを一度「オフ」にした後、再度「オン」にしてください。（13ページ） |
| ホットラミネートができない | ◇“ホット”アイコン（Hot）が点灯していますか？<br>◇“レディ”アイコン（Ready）が点灯していますか？<br>◇クーラーの冷気が直接当たっていませんか？ | プリセットモード値を設定して、“ホット”アイコン（Hot）を点灯させてください。（10ページ）<br>設定した温度に達して、“レディ”アイコン（Ready）が点灯するまでお待ちください。（10ページ）<br>クーラーなどの冷気から離してご使用ください。（3ページ） |
| ラミネートフィルムがはがれる | ◇紙以外の材質のものをラミネートしていませんか？ | 紙専用のラミネーターです。紙以外のものはホットラミネート加工をすることができません。また、コーティング処理された紙、油分を含む特殊紙は加工できません。（8ページ） |
| ラミネートされた加工物が波を打っている | ◇ラミネート温度が高すぎます。 | プリセットモード値を下げるか、ラミネート温度の設定を下げてください。（7・10ページ） |
| ラミネートされた加工物の表面が曇っている | ◇ラミネート温度が低すぎます。 | プリセットモード値を上げるか、ラミネート温度の設定を上げてください。（7・10ページ） |
| ラミネートフィルム表面が汚れる | ◇ローラーのクリーニングをしていますか？ | 同梱のクリーニングペーパー、もしくは厚手の紙を使用して、ローラーをクリーニングしてください。（12ページ） |
| ラミネートフィルムが取出口から出てこない | ◇パウチフィルムがラミネーターの中に詰まっています。 | 逆転ボタンを押し続けて、フィルム挿入口側から詰まった加工物を排出してください。（13ページ） |

# 9・製品仕様

| | |
|---|---|
| 商品名 | パウチラミネーター<br>DocuSeal Turbo 1 |
| 品番 | GLMT1 |
| サイズ(W) x (D) x (H) | 527 x 280 x 159 mm<br>（サポートトレイ設置時　527 x 500 x 159 mm） |
| 質量 | 10.2 kg |
| 電源 | 100 V, 50/60 Hz |
| 消費電力 | 600 W |
| 最大ラミネート幅 | A3（310mm） |
| 最大ラミネート厚 | 2.5 mm |
| ラミネート速度 | 100 cm / 分 |
| ラミネート温度 | 80 ～ 170 ℃ (コールド時は常温) |
| 加熱方式 | 外部加熱ヒートローラー方式 |
| ウォームアップ | 約 5 ～ 7 分 |

# 保証とサービス

★保証書は内容をご確認のうえ、大切に保存してください。
販売店印、お買い上げ年月日の記入の無いものは無効となりますのでご注意ください。

★保証期間中に正常な使用状態で、万一故障した場合には、保証書記載事項に基づき、無償修理いたしますのでお買い求めの販売店、または、弊社へお申し出ください。

（1） 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
- a 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
- b お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
- c 火災、地震、水害、落雷その他天災地変ならびに公害や異常電圧その他外部要因による故障または損傷。
- d 過酷な条件のもとで使用されて生じた故障または損傷。
- e 本書の掲示のない場合。
- f 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- g 本機は専門処理業者様の業務用途には適しません。

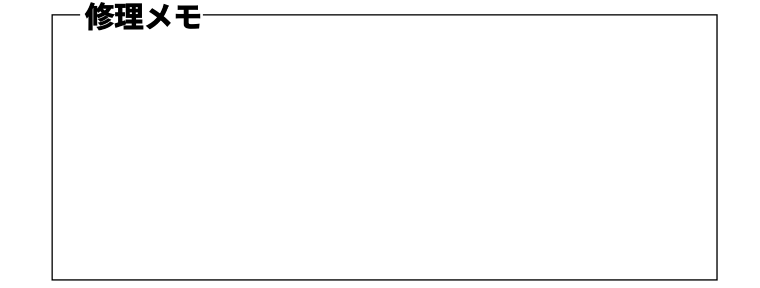
（2）ご贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には当社へご相談ください。

（3）本書は日本国内においてのみ有効です。

（4）本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

（5）補修用性能部品保有期間は製造中止後5年間です。
同等機種との交換により修理対応とさせて頂く場合もございます。

**修理メモ**



**お客様相談窓口　：東京本社　03-5351-1801（代）**

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明な場合はお買い上げの販売店または当社へお問い合わせください。

キ　リ　ト　リ　線

# パウチラミネーター　保証書

| | |
|---|---|
| 品　　名 | パウチラミネーター DocuSeal Turbo 1 |
| 品　　番 | GLMT1 |
| 保証期間 | 1年 |
| シリアルNo. | |

| | |
|---|---|
| ★お買上げ日 | 年　　月　　日 |
| ★お　客　様 | ご芳名<br>ご住所<br><br>TEL　　（　　　） |

★印欄に記入のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。



ＧＢＣ製品をお買い上げいただきありがとうございます。
保証期間内に、取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な使用状態で故障した場合には本書記載内容に基づき、お買い上げの販売店が無償修理いたします。お買い上げの日から左記保証期間内に故障した場合は商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

| | |
|---|---|
| 販売店 | 住所／店名<br><br>TEL　　（　　　） |




〒164-0012　東京都中野区本町1-32-2　ハーモニータワー
TEL. 03(5351)1801